

日本初 “公立近代美術館”の誕生



開館当初の県立近代美術館(現・鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム)



セザンヌ・ルノワール展

11月18日-30日

神奈川県立 近代美術館 鎌倉

開館記念展ポスター

昭和26(1951)年11月17日、鎌倉の鶴岡八幡宮境内に県立近代美術館が開館しました。これは日本初の公立による同時代美術を展示・収蔵する美術館として、戦後の文化復興を象徴する出来事となりました。

建物は建築家・坂倉準三^{さかくら じゅんぞう}が設計、ピロティ形式を採用したモダニズム建築として現在は国指定の重要文化財に指定されています。開館記念展では西洋近代美術の巨匠たちの作品が展示され、多くの人々を魅了しました。

現在は葉山と鎌倉の二館体制で、近・現代美術の研究と普及の拠点として日本の美術文化の発展に大きく貢献しています。



かながわ「昭和100年」

つながる心、ともに未来へ